
さよならなんて、言わせない。

ぽっぽ。

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さよならなんて、言わせない。

【著者名】

N4482K

【作者名】 ぱつぽん

【あらすじ】

恋のおわりの物語です。

嘘をつく時、君は視線を少し上にずらして、その艶やかな黒髪をサツと撫でる癖を持っている。

本人は気付いていないようだけど、周りの皆は全員知っている。デートに遅刻した理由も、昨日食べたご飯も、今もダイエットを続いている事も、全部嘘だと分かっている。

正直者の君だから、きっと無意識の内に苦しんでいるんだよね。そう思って、君の小さな嘘ですら愛おしく見えてくるのだから、恋とは恐ろしいものだ。

君は嘘のつけない正直者だから、君の気持ちが僕から離れている事も、僕は知っている。

「好きだよ」と呟く君の姿が、今の僕には切なくて仕方ない。

君の身体を引き寄せ、強引にキスをする。

分かってる。今夜、君が僕を呼び出した理由も、君が泣く訳も、もう一度と君の気持ちが僕に戻ることのない事も、みんな知っている。

このキスが終わる時、君は僕に別れを告げるだろう。

だから、もう少しだけ。君の唇を塞いで、もう少しだけ僕だけの君でいて欲しい。

僕はまだ君が好きだから、さよならなんて、言わせない。

(後書き)

感想お待ちしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4482k/>

さよならなんて、言わせない。

2010年12月31日05時29分発行